

食品新聞

発行所 食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪府北区南森町2-3-30
郵便番号 530-0054
電話 06-63611-4972(代)
東京 都心 中央区 大塚1-1-1
郵便番号 104-0042
電話 03-3552-3756(代)
名古屋 市中区 丸の内2-10-11
郵便番号 460-0002
電話 052-221-5391(代)
支店 広島 福間
食品新聞社 2018
THE JAPAN FOOD NEWS
創刊 昭和22年1月30日

北海道産の
てんさい糖から
生まれたオリゴ糖
(生で砂糖)

ヨーグルトに
ヨーグル糖
オリゴ糖(ケースト)
含有シロップ
監製加藤美峰園本舗

きょうの主な内容

「進化続ける食品安全規格」
「FOODS」C特集 6~8面
「簡便志向かも「レジ対応」」
(チルドハンパク 8面)

30減塩
アヲ!

おいしさが喜び
アヲ!

北海道地震、酪農乳業を直撃

アイス、チーズは好調持続 TPP発効で国際競争時代に

2018年の酪農乳業界は、アイス、チーズなどが引き続き好調に推移したが、9月の北海道地震(いづみ)で、大規模停電(ブラックアウト)が道内の酪農・乳業を直撃し、生乳生産に影響を与えた。一方、12月30日には環太平洋パートナーシップ協定(TPP)が発効、酪農乳業界は本格的な国際競争時代に突入する。生活者の健康志向を背景に、牛乳・乳製品に対する需要は堅調に推移しているが、本格的な国際競争時代の到来は間近か。官民挙げて競争力強化が急がれる。

2018年酪農乳業界重大ニュース ※酪農乳業研究会選定	
北海道地震、ブラックアウトで酪農乳業界混乱	
TPP11、日欧EPA発効へ	
改正畜安法施行、新補給金制度に	
18年乳牛頭数、16年ぶりに増加	
乳児用液体ミルク、国内での製造販売可能に	
アイスクリーム市場規模、5000億円突破(17年度)	
チーズ総消費量、3年連続過去最高を更新(17年度)	
農水省、牛乳・乳製品対象の適正取引ガイドライン公表	
改正食品衛生法施行でHACCP制度化へ	
国産チーズ強化へ生乳1キログラムに12円交付、工房向け等には3円加算	

アウトにより、道内乳産者団体を通じ乳業メーカーなどに供給され、補給金(補助金)の交付も同様だったが、同法の施行を受け、4月1日以降は指定団体を通ずる。直に、酪農乳業界は本格的な国際競争時代に突入する。生活者の健康志向を背景に、牛乳・乳製品に対する需要は堅調に推移しているが、本格的な国際競争時代の到来は間近か。官民挙げて競争力強化が急がれる。

'18酪農乳業回顧

今年には地震、台風、大雪、将来的な不測の事態の中豪雨など自然災害に見舞われる1年となったが、酪農乳業界に大きな影響を与えたのが北海道胆振東部地震。地震そのものの被害は軽微だったが、ブラックアウトにより、道内乳産者団体を通じ乳業メーカーなどに供給され、補給金(補助金)の交付も同様だったが、同法の施行を受け、4月1日以降は指定団体を通ずる。直に、酪農乳業界は本格的な国際競争時代に突入する。生活者の健康志向を背景に、牛乳・乳製品に対する需要は堅調に推移しているが、本格的な国際競争時代の到来は間近か。官民挙げて競争力強化が急がれる。

家庭用領域を拡大 栄養補給の新果汁飲料など

ia Nature「アエティオ」
「Energy」には、マンゴリーやパッション、度の高い20~40代の女性に受け入れられてきた。次々4本目の柱として、飲料開発事業部を昨年10月、販売している。

エム・シー・フーズ

エム・シー・フーズは、BtoCを含めて20%程、昨年1月に三菱食品の子会社となったことで、今後、これを5%に引き上げていく。飲料開発事業部を昨年10月、販売している。

「新たな成長の時代へ」
日本フードサービス協会・高岡会長

外国人の就労拡大歓迎

「景気はプラス、経営環境はマイナスも」
加藤産業・加藤社長

大阪万博に言及

「逆光線」
高岡会長

「逆光線」
高岡会長

せかいでつかう “グローバルロゴ” が、できたンダ。

すべての人に「おいしい、うれしい、いつまでも」をお約束するために、私たち味の素グループの様々な思いを込めて、世界共通のグローバルロゴをつくりました。

新しいグローバルロゴには、私たち味の素グループの、たくさんの思いと意志を込めました。

“味の素(Ajinomoto)”は、“味のもと(Essence of Taste)”
→“おいしさのもと(Essence of Umami)”を意味するものです。

“A”には、無限大∞を組み合わせることで、“味(Aji)”を追究し、極め、広めていく意志と、“アミノ酸(Amino acid)”の価値を先端バイオ・ファイン技術で進化、発展させる意志、さらに地球の持続性を促進する意志を込めました。

“A”から“j”にかけての流れるラインは人の姿を表し、味とアミノ酸の“A”に人々が集まり(Join)、料理や食事、快適な生活を楽しむ(Joy)ようにという思いを込めています。

そして、“j”の下から右上に伸びているラインは、味の素グループが未来に向けて成長、発展していくことを表しています。このグローバルロゴとともに、これからの味の素グループの活動に、ご期待ください。

Eat Well, Live Well.

Ajinomoto